

北朝鮮弾道ミサイルに関する警戒会議

【日時】

令和5年4月13日（木）午前10時30分から

【場所】

災害対策本部室（鳥取県庁第2庁舎3階）

【参集範囲】

知事、統轄監、危機管理局、総務部、農林水産部、自衛隊、警察本部

※市町村、各総合事務所等には、映像配信

【議題】

- (1) 事案の経過と現状
- (2) 県の対応方針
- (3) その他

1

1 ミサイル発射の状況（報道内容）

【項目】	【概要】
発射日時	令和5年4月13日（木） 7:22
種類・発数	ICBM級以上の弾道ミサイルとみられるもの少なくとも1発 （防衛省情報）
情報覚知	①7:29 内閣官房 ②7:55 Jアラート
発射地点	北朝鮮内陸部
落下地点	分析中（日本領域・EEZ内への落下可能性なし）
最高高度	分析中（ロフテッド軌道の可能性）
飛行距離	分析中
回数	8回目

2

【北朝鮮関連の動向】

- ・4月10日(月) 中央軍事委員会拡大会議
(戦争抑止力拡大強化)
- ・4月15日(土) 金日成誕生日(太陽節)
- ・4月25日(火) 北朝鮮革命軍創設91年

北朝鮮は、昨年末の朝鮮労働党中央委員会総会において、「2023年4月までに軍事偵察衛星1号機の準備を完了予定」と発表

【北朝鮮に対する経済制裁の動向】

- ・平成18年10月 入港、輸入を全面禁止
- ・平成21年 6月 輸出を全面禁止
- ・令和5年4月7日
閣議において制裁の延長を決定
(令和5年4月14日から令和7年4月14日まで)

2 県の対応状況(初動対応)

【時間】	【概要】
7:29	<ul style="list-style-type: none">・内閣官房からの情報(第1報) 「ミサイル発射情報」・知事への報告及び知事からの指示受け・職員参集メール等で庁内での情報共有・直ちに漁船等の安否確認を開始
7:56	<ul style="list-style-type: none">・内閣官房からの情報(第2報) 「落下予測情報」・現在も飛翔中で8:00頃、北海道周辺に落下する見込み
8:19	<ul style="list-style-type: none">・内閣官房からの情報(第3報) 「ミサイル落下推定情報」・改めて漁船等の安否確認を実施 →8:50に確認完了で県内の被害情報なし

7

【知事コメント】

令和5年4月13日
(09:05発出済み)

・国際社会の願いを無視した相次ぐミサイル発射の暴挙は、北東アジアの緊張を著しく高めるものであり言語道断だ。

・本県船舶等の安全は確認したが、政府には拉致問題解決も含め、制裁措置強化等毅然とした対応をとってほしい。

8

【県民へのお願い】

- ・不審な落下物には近づかず、警察や消防に通報してください。
- ・今後も国又は県が発信する情報に注意してください。
- ・Jアラートの情報があった場合は、直ちに建物の中、又は地下に避難してください。

9

【拉致被害者家族(松本 孟氏)コメント】

令和5年4月13日

- ・北朝鮮のミサイル発射は、自国の力を誇示し威嚇するだけで、無駄であり大変危険なので、絶対にやめてほしい。
- ・政府には、ミサイル発射に影響されることなく、拉致問題をおきざりにしないで、きちんと対応していただくようお願いしたい。

10

【県の体制】

< 情報収集・連絡調整 >

◆市町村・関係機関との連携

◆情報の伝達に万全を期すため3手段を確保

■Jアラート

国→県・市町村への情報伝達(文字・音声の送信)

※防災行政無線を通じて自動放送(鳥取県に飛来する可能性がある場合のみ)

■エムネット

国→県・市町村・消防局等への情報伝達(メールによる添付ファイル送付)

■消防防災無線FAX

国→県→市町村・消防局等への情報伝達

< 住民等への情報提供 >

■県ホームページ(携帯電話用も含む。)、あんしんトリピーメール、ツイッター、フェイスブック、Lアラート、災害情報ダイヤル(電話0857-26-8100)、Yahoo!防災速報による情報提供

■報道機関、市町村を通じた情報提供



◆各部署の対応

危機管理局	<ul style="list-style-type: none"> 情報の収集、集約及び伝達 国、市町村、関係機関(自衛隊・海上保安庁・警察・消防)との連絡調整 住民広報(令和新時代創造本部と共同)
交流人口拡大本部 (観光戦略課)	<ul style="list-style-type: none"> 落下後の国内便への安否確認
生活環境部 (原子力環境センター)	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング態勢を強化
農林水産部 (漁業調整課)	<ul style="list-style-type: none"> 落下区域操業漁船の把握及び安否確認 関係する漁業者への注意喚起
教育委員会 (教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 海洋実習船の航行状況の把握及び着弾後の安否確認
共通	<ul style="list-style-type: none"> 万が一に備えた対策 「屋内退避等の呼びかけ準備」 「県内に着弾した場合の対応準備」

(資料) 令和5年北朝鮮ミサイル等発射状況(1)

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
①	1月1日 (日) 02:50頃	短距離弾道ミサイル 1発 ※超大型ロケット砲と呼んでいる 短距離弾道ミサイルの性能確認 のための発射との北朝鮮の報道 (弾道ミサイル合計1回-1発)	平壤龍城付近	日本海 (EEZ外) ※設定した目標に 命中と発表	約100km	約350km
②	2月18日 (土) 17:21頃	ICBM級弾道ミサイル 1発 ※EEZ内への着弾はR4. 11. 18 以来で今回で12回目 (弾道ミサイル合計2回-2発)	平壤近郊順安付近	北海道渡島大島 西方約200km (EEZ内) ※Jアラート等なし	約5,700km ※約66分間飛翔	約900km
③	2月20日 (月) ①06:59頃 ②07:10頃	短距離弾道ミサイル 2発 ※北朝鮮は600ミリ口径の超大型 ロケット砲の射撃訓練と発表 (弾道ミサイル合計3回-4発)	平安南道肅川付近	日本海 (EEZ外) ※395kmと337km 先の目標に命中と 発表	①約100km ②約50km	①約400km ②約350km
	2月23日 (木)	戦略巡航ミサイル 4発 ※24日付け朝鮮労働党機関紙 「労働新聞」による報道	北東部 咸鏡北道	日本海 (EEZ外) ※2,000km先の 目標に命中と発表	だ円や8の字軌道 で2時間50分飛行 との報道	
	3月9日 (水) 18:20頃	短距離弾道ミサイル 6発 ※数発が同時発射との報道 ※防衛省からの公式発表無し (日本政府としてはカウント外)	南浦付近	黄海		
	3月12日 (日) 未明	戦略巡航ミサイル 2発 ※13日付け	東部の咸鏡南道・ 新浦に近い景浦湾 コレ級(2000トン 級)潜水艦から	日本海 で7563s(2時間6 分3秒)~7575s (2時間6分15秒) 飛行		1500km先まで の距離を『8』字型 の飛行軌道

(資料) 令和5年北朝鮮ミサイル等発射状況(2)

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
④	3月14日 (火) 07:41~ 07:51頃	短距離弾道ミサイル 2発 ※北朝鮮は地対地戦術弾道ミサ イルと発表 ※韓国軍は「KN23」と推定	南西部ファンヘ南 道のチャンヨン	北東部ハムギョン 北道チョンジンの沖 合にある目標の島		611km
⑤	3月16日 (木) 07:09頃	長距離弾道ミサイル 1発 ※北朝鮮はICBM「火星17」と発 表	平壤近郊	北海道の渡島大島 の西方約200km EEZ外	約6,000km超	約1,000km
⑥	3月19日 (日) 11:05頃	短距離弾道ミサイル 1発 ※北朝鮮は戦術弾道ミサイルと 発表	北朝鮮西岸(東倉 里)付近	日本海 (EEZ外) ※800km先の目標 で正確に爆発と発 表	約50km超	約800km
	3月22日 (水) 10:15頃	戦略巡航ミサイル 4発 ※24日付けの北朝鮮の朝鮮労 働党機関紙「労働新聞」の報道	東部・咸鏡南道咸 興付近	日本海		1,500kmから 1,800km (最長2時間半あ まり飛行)
⑦	3月27日 (月) 07:47頃 07:57頃	短距離弾道ミサイル 2発 ※韓国軍は「KN23」と推定	内陸部の黄海北道 中和郡	日本海 (EEZ外)	約50km	約350km